

■演題名：全角で 40 字以内

歯科における統合医療－歯科治療後に生じた見た目の変化への対応－

■演者氏名・所属機関

清水洋利 1) 筆頭

久保田恵 2)

山下菊治 3)

今福吉和 4)

西川浩司 5)

田村忠司 6)

1) 医療法人社団グローバル会

2) 岡山県立大学保健福祉学部栄養学科

3) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔顎顔面形態学分野

4) 株式会社ウェルハート

5) 富士化学工業株式会社

6) 株式会社ヘルシーパス

■演題抄録：

目的：歯科治療に起因する口腔周囲の見た目の変化への対応は、機能回復と同様に患者の関心度は高いものの、現行の歯科治療においては、苦慮する場合が多い。今回、義歯からインプラントにすることで、咬合の回復は図れたものの、しわが気になってきた患者に対して、見た目の改善を行った症例を示す。方法：インフォームドコンセントを行った上で、歯科治療への適用として厚生局から輸入許可を受けたヒアルロン酸製剤を口腔周囲のしわに注入し、見た目の改善を図った。結果と考察：炎症等の特記すべき反応は生じず、見た目の改善ができ、高い患者満足が得られた。従来の歯科治療では解決が困難であった見た目の改善も、ヒアルロン酸注入法を導入することによって可能となり、これは患者の目線に立った歯科治療の新たな選択肢の一つとして考えられる。結論：機能的回復のみならず、歯科治療の「次の一手」として、見た目の改善という考え方の普及が期待される。